

1. 略歴

1984年3月	東京大学文学部英語英文学専修課程卒業
1984年4月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程入学
1987年3月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻修士課程修了
1987年4月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程進学
1989年3月	東京大学大学院人文科学研究科英語英文学専攻博士課程退学
1989年4月	実践女子大学文学部英文学科専任講師
1992年4月	東京大学教養学部助教授
1993年4月	東京大学大学院総合文化研究科専攻助教授
2004年4月	東京大学人文社会系研究科助教授 併任
2004年9月	東京大学人文社会系研究科助教授
2007年4月	東京大学人文社会系研究科准教授
2012年4月	東京大学人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

言語学、意味論、認知文法

b 研究課題

文法の意味的基盤

認知文法の観点からさまざまな文法現象の意味的な基盤を明らかにすることを目標として研究を進めてきた。これまでに分析の対象にしてきた主な現象は、日英語の使役構文、項構造の交替、文法関係などである。近年は認知言語学の分野でその遍在性、重要性が新たに注目されている換喩 (metonymy) の本質を解明し、それに基づいて従来別々に扱われてきた多くの文法現象を統一的に把握し直すことを目指している。

c 概要と自己評価

2010年から言語に関心をもつ哲学者と議論を重ね、文法の意味的基盤について考察を深めることができた。その成果を昨年以下の共著書およびいくつかの学会で発表することができた。

d 主要業績

(1) 著書

藤田耕司、西村義樹 (編者)、『文法と語彙への統合的アプローチ』、開拓社、2016.5

(2) 論文

西村義樹、長谷川明香、「語彙、文法、好まれる言い回し——認知文法の視点——」、藤田耕司、西村義樹 (編) 『文法と語彙への統合的アプローチ』 (開拓社)、pp. 282-307、2016.5

西村義樹、長谷川明香、「生成文法と認知言語学との対話は可能か? ——長谷川論文へのコメント——」、藤田耕司、西村義樹 (編) 『文法と語彙への統合的アプローチ』 (開拓社)、pp. 27-33、2016.5

西村義樹、藤田耕司、「「シンタクスの自律性」と「文法性」——田窪論文への脚註として——」、藤田耕司、西村義樹 (編) 『文法と語彙への統合的アプローチ』 (開拓社)、pp. 48-54、2016.5

西村義樹、「語法文法とは何か——認知言語学の視点」、『英語教育 (大修館書店)』、Vol. 65 No. 9、2016.10

(3) 解説

西村義樹、長谷川明香、「解題 III 認知言語学におけるメンタル・コーパス革命」、John R. Taylor 著 *The Mental Corpus* の訳書『メンタル・コーパス』、2017.7

西村義樹、「辞書の項目執筆」、『広辞苑』第7版 (岩波書店)、2018.1

(4) 学会発表

国内、西村義樹、「認知言語学 I 文法と意味」、東京言語研究所春期講座、2016.5.8

国内、西村義樹、「文法と意味：認知言語学の視点」、言語処理学会第23回年次大会、筑波大学、2017.3.13

国内、西村義樹、「文法と意味：認知文法の視点」、言語と情報研究プロジェクト 第64回公開セミナー、広島大学、2017.6.3

国内、西村義樹、「認知言語学の立場から」、関西言語学会第42回大会シンポジウム「日本語の「使役性」をめぐって」、京都大学、2017.6.10

国内、西村義樹、「趣旨説明とコメント」、日本言語学会第154回大会ワークショップ「所有の言語学: To Have, or Not to Have?」、首都大学東京、2017.6.25

国内、西村義樹、「文法と意味：認知文法の視点」、斎藤英学塾、2017.7.22

国内、西村義樹、「認知文法とは何か」、東京言語研究所夏季集中講義、2017.8.11

国内、西村義樹、「認知言語学の立場から」、公開シンポジウム「認知言語学と語用論」、成蹊大学、2017.8.29

国内、西村義樹、「日本語の受動構文をめぐって」、成蹊大学アジア太平洋研究センター共同研究プロジェクト「認知言語学の新領域開拓研究」2017年度第3回研究会、成蹊大学、2017.9.11

国内、西村義樹、「好まれる言い廻し再考：メンタル・コーパスとは何か」、日本エドワード・サピア協会第32回研究発表会、成蹊大学、2017.10.21

国内、西村義樹、「メンタル・コーパスとは何か (The Mental Corpus: Beyond the DICTIONARY PLUS GRAMMAR BOOK Model)」、日本英語学会第35回大会シンポジウム、2017.11.19

国内、西村義樹、「メンタルコーパスとは何か——英語らしさ、日本語らしさへの認知文法的アプローチ——」、「言語と人間」研究会 第43回春期セミナー、桜美林大学(千駄ヶ谷キャンパス)、2018.3.4

(5) 予稿・会議録

国内会議、西村義樹、「認知言語学と日本語研究」、2016

『日本語の研究』、第11巻2号、pp. 164-165、2015.4

国内会議、西村義樹、「メンタル・コーパスとは何か」、日本英語学会第35回大会シンポジウム、東北大学、2017.11.19
『日本英語学会第35回大会 Conference Handbook』、281-286頁、2017.11

(6) 翻訳

共訳および編訳、John R. Taylor, "The Mental Corpus: How Language is Represented in the Mind"、西村義樹、平沢慎也、長谷川明香、大堀壽夫、古賀裕章、小早川暁、友澤宏隆、湯本久美子、『メンタル・コーパス: 母語話者の頭の中には何があるのか』、くろしお出版、2017.7

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、東京外国語大学(集中講義)、「認知言語学」、2017.1~2017.2

非常勤講師、京都大学(集中講義)、「文法と意味：認知文法の視点」、2017.9

特別講演、東京都立青山高等学校、「文法に意味はあるのか?」、2017.11